

**2017年1月27日開催
2017年9月期 第1四半期決算説明会 における主な質疑応答内容**

この質疑応答集は、1月27日（金）に開催した決算説明会（アナリスト・機関投資家向け）にて、ご出席の皆様からいただいた主なご質問をまとめたものです。理解促進のために一部内容の加筆修正を行っております。

【クロスボーダーEC事業について】

Q1: 「From Japan」と「To Japan」の内訳を教えてください。

内訳は流通総額と売上高のみとさせていただいており、営業利益については内訳の開示を控えさせていただいております。

Q2: 1月以降も円安傾向が続いているが足元の状況はどうか。

具体的な数値は開示することができません。

しかしながら、期初に公表している業績予想の為替レート的前提は、上期103円、下期95円となっておりますので、前提を上回る円安が続けば、順調に成長していくと考えております。

Q3: 足元の春節の影響はどうか。

春節中は多くの方がお休みを取られ旅行等で外出するため、一般にECの利用は減少する傾向にありますが、春節前後の1月、3月に取扱高が増加する傾向にあります。

Q4: From Japanの今後のTake Rateの水準は。

市場環境の変化に対応するため変動することもありえますが、基本的な方針としては、さらに高めていく方針です。前々期から収益機会の多い代理購入事業のBuyeeへのシフトを進めておりますが、引き続きそれによりTake Rateを上げていく予定です。

また、収益性の観点では販管費の削減も進めております。一例としてカスタマーサポート業務の一部を海外（台湾）に移しており、自社運営によって品質を担保しながらのコスト削減も実現しております。Take Rateの上昇、販管費比率の低下の両面から営業利益率を高めて参ります。



Q5: 営業利益が前四半期（FY2016/4Q）比で売上高の伸びよりも高く伸びているが、何か一時的な要因があるか。

当四半期は、円安によって商品単価が上がったことで利益率が上昇していること、前四半期はプロモーション費用の投下もあり営業利益が抑制されております。当四半期の利益率が高いというよりも前四半期の利益率が低くなっております。

【インキュベーション事業について】

Q1: インキュベーション事業のメトロエンジン㈱への出資額を教えてください。

出資金額については、開示を控えさせていただいております。当四半期については複数社に出資をしており、総額で 328 百万円の出資を行なっております。メトロエンジン㈱は、当四半期における主要な新規出資先の 1 社です。

Q2: 直近ではインドに注力していたようだが、今後は国内での投資活動も行っていくのか。

国内外問わず投資活動を行って参ります。国内での投資は、当社のミッションである「日本と世界をつなぐ」事業領域へ投資していく方針です。

Q3: 売却益の計上時期はいつを予定しているか。

発行会社、譲渡の相手先との調整もあるため、具体的な時期は控えさせていただきます。

以上